

7/4～9 日本語ワープロ検定

情報の授業を受けている2年生を中心に、70名の生徒が日本語ワープロ検定を受験しました。本校では、日本語の入力及び文書処理に関する能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピューター活用能力の向上を図ることを目的に、この資格に挑戦しています。試験内容は、「速度問題」と「文章作成問題」の2つがあります。「速度問題」はどれだけ正確に入力できるか、「文章作成問題」では正確で体裁の良い文章作成ができるかを判定します。本校では今後も、地域や企業等で必要とされる資質・能力を備えるべく、このような資格取得に積極的に挑戦していきます。



7/9・12 高齢者の介護技術講習

グリーンデザイン科2年生の「園芸福祉」の授業で、「高齢者の介助技術」と題し、木島平村社会福祉協議会及び、里山の家の職員の皆様を講師としてお招きし、高齢者疑似体験と車椅子の使い方について研修を受けました。この研修を通して、生徒が企画・運営する園芸交流会を充実したものにするため、高齢者の方の身体特徴を理解し、交流の際の注意点を学ばせていただきました。主な体験は2つで、「高齢者疑似体験セットを使って、体がどの程度動くのか」、「車椅子の基本的な操作技術」を中心に行われました。高校卒業後、介護施設などに就職する生徒もいるため、就職後に役立つ知識・技能を習得するべく、このような講習会を毎年実施しております。



7/18 食の検定（3級）

日々の食生活をより良いものにし、食べるために必要な知識を習得することを目的とした「食の検定」を、食文化コース8名、食品科学コース5名が受験しました。3級は、「畑から食卓まで」といったテーマで、農作物の生産から消費までの基礎的な知識と、食育にまつわる基礎的な事項が問われます。そのため、①日本人と農作物の歴史、②農作物の特性、流通や表示、③米をはじめとした穀類、④大豆をはじめとした豆類、⑤野菜と果物のそれぞれの種類や特徴、栄養価、栽培方法など、多岐にわたる問題が出題されました。

食や農、幼児教育に関係する就職や専門学校への進学を希望する生徒は、進路決定にプラスになることもあり、いつも以上に集中して取り組んでいました。



7/1 求人票受付開始

本日より、高校生を対象とした、企業による学校への求人申込及び学校訪問が開始されました。

本校では、ハローワーク飯山・須坂・長野・篠ノ井から送られてきた求人一覧表を参考に希望企業を決め、希望企業の求人番号から求人票を確認した後、保護者との相談、生徒・保護者・担任を含めた3者面談を経て、受験する企業を決定します。決定後、夏休みなどを活用して、実際に希望企業の見学をし、仕事内容等を自分の目で確かめます。

夏休み期間中、3年生は毎日登校して進路学習会に出席し、履歴書を完成させて、進路指導係の先生方を中心に面接の仕方などをご指導いただきます。夏休み終了後、ひとまわり大きく成長した3年生の姿に注目です。



7/8 第101回全国高等学校野球選手権長野大会

本校の野球部は、松本市野球場にて松本工業高校との1回戦に臨みました。初回に、本校が2点を先制しました。しかし、次の回に7点取られてしまい、最後まであきらめずに逆転の機会を狙っていましたが力及ばず、3-10で敗退し、初戦突破はなりません。3年生はこれで引退し、新チームでの再スタートとなります。キャプテンの宮本楓己くんは「no rain no rainbow!!」（辛いことを乗り越えたら、きっといいことがあるはずだよ!!）と後輩たちにエールを送っていました。応援していただいた皆様、保護者の皆様に御礼を申し上げます。また、普段から暖かく見守っていただいた地域の皆様に感謝いたします。



7/16 飯山仏壇木彫講座

グリーンデザイン科3年「林産物利用」の授業で、信州ものづくりマイスターの森徳壽様を講師としてお招きし、飯山仏壇の彫刻についての研修講座を実施しました。以前、木材加工を学習した際、長野県の伝統的工芸品である飯山仏壇について学習しましたが、今回の講座は実践編です。

生徒は自分で選んだ絵柄をお盆に書き写し、先生のお手本を参考にしながら、彫刻刀を使って彫り進めていきました。普段体験することができない仏具彫刻の伝統技術を学ぼうと、生徒は真剣な眼差しで取り組んでいました。このような地域の伝統産業を守っていく活動も、本校では大事にしています。



7/16 建設工事現場見学研修会

3年選択授業「農業機械」で、長野県北信建設事務所及び、長野県建設業協会飯山支部の皆様にご支援を賜り、この研修会を開催していただきました。視察先は、①野沢温泉村横落村民住宅工事現場、②飯山市上桑名川工事現場、③栄村箕作飯山線橋梁工事現場の3か所です。各現場にて工事概要の説明をお聞きするとともに、実際に構造物が出来上がっていく施工途中の様子を間近で見学させていただきました。本研修を通じ、後世に残る建築物を造ることのやりがいや、建設業の魅力等を再確認でき、進路選択に大いに参考になったと思います。北信州地域の担い手を育てるべく、現場を自分の目で確かめることに重点を置いた教育を展開していきます。



<http://www.nagano-c.ed.jp/nourinn/>
ホットな情報を知りたい場合は↓

下高井農林高等学校	検索
TEL 0269-82-3115 (代)	



令和元年度

第4号

(7月号)

農林高校だより